

(雪のシンデレラ、雪のジャンヌ・ダルク)

雪の女王と呼ばれ女性選手は多い、マリ
エル・ゴフシェル、ナンシー・グリーンもそう
呼ばれられる時期がある。エリカ・ハス、フレニ・シュタイダー
しかしながら、アネマリー・プロールほど
女王と呼ばれるのが似合っ女性選手はいない。
ザルツブルグ州の団舎クライタールから連
れて来られる少女は、ナショナルチームのトレ
ーニングに参加をゆるさず、次のシーズン19
70年からはW-Cupのエントリーされる。
少女は、その年、W-Cupの総合順位でオー

タイダー

(フランス勢が1位から4位を占める)

No.

ストリア人のトップ7位を占め、フランスへの反抗の狼火を上げた。

続く1971年以降、引退するまでの5年間、女王の座を誰にもゆがることはなかった。

1973年シーズン、滑降の8戦全勝で始まり、連勝は1974年シーズンにもつながり13連勝と行った。

当時、ジャーナリスト達は、「何時アネマリーの連勝が止められるか」とそれだけつづけて女子のレースを追い続けた。

「私は、これまでとつきりていよいよ金メダル
を奪取するレースに復帰すると宣告して帰
つて来た母親に「モーガ・フーエルは
その年のワールドカップの6度目の総合優勝
をかぎ(1979年)り、続く1980年、レイクプラ
シットのアリントンで、金メダルを手に入
れてくる。」

(約束の)

No.